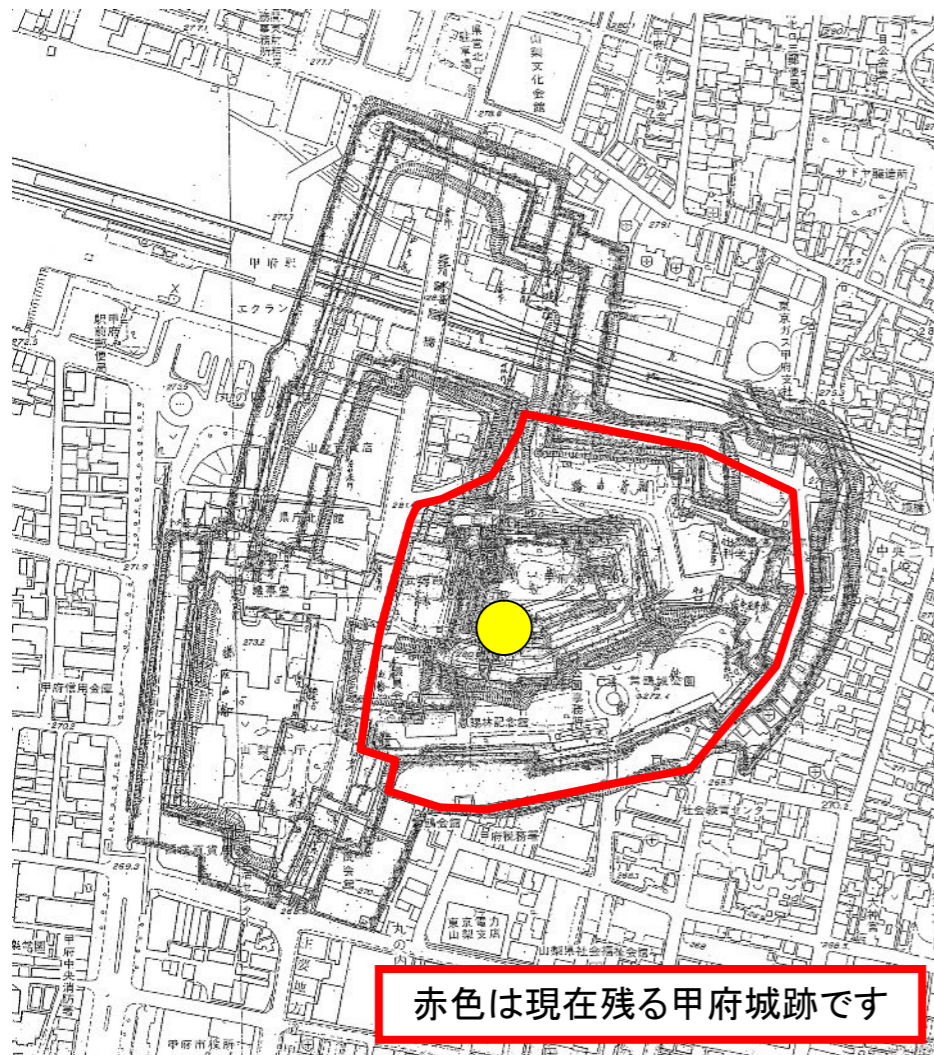


県指定史跡 甲府城跡

# 鉄門ニュース 創刊号

甲府城跡は、1582年(天正10年)甲斐の国の領主であった武田家滅亡以降、豊臣秀吉の命により羽柴秀勝、加藤光泰、浅野長政・幸長親子が配され、浅野氏の時代に完成したと考えられます。

江戸時代は、将軍家一門の入る城として位置付けられましたが、1704年(宝永元年)に柳沢吉保・吉里が領主となり、約20年の間で城と城下がもっとも整備されました。柳沢氏が大和郡山城主として移封されると、幕府直轄領として幕末に至るまでの約160年間、甲府勤番支配のもとに管理されました。



赤色は現在残る甲府城跡です



現在残る甲府城跡を南側上空から見る

● 鉄門の位置